

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2007-509063(P2007-509063A)

【公表日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【年通号数】公開・登録公報2007-014

【出願番号】特願2006-535420(P2006-535420)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 Z N A H

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月15日(2007.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多発性硬化症の処置のための自己T細胞ワクチンを作製する方法であって、以下：

(a) 該ワクチンで処置されるべき患者に由来するT細胞を含む末梢血単核細胞の集団を提供する工程；

(b) C D 4⁺ T細胞集団を減らす工程；

(c) M S 関連抗原および必要に応じて抗原提示細胞を添加する工程；および

(d) 工程(c)を1回以上反復する工程；

を包含し、該C D 4⁺ T細胞集団を減らす工程は、該末梢血単核細胞からC D 4⁺ 細胞を除去することによる、方法。

【請求項2】

前記M S 関連抗原が、ミエリン塩基性タンパク質、プロテオリピドタンパク質、ミエリン稀突起神経膠細胞糖タンパク質およびこれらの組合せからなる群より選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記M S 関連抗原が、配列番号1～4のいずれか1つに記載の配列を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

工程(c)が、I L - 2 を添加する工程をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

工程(c)が、マイトイジエンを添加する工程をさらに包含する、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記マイトイジエンが、フィトヘマグルチニン、コンカナバリンA、アメリカヤマゴボウマイトイジエン、および抗C D 3モノクローナル抗体からなる群より選択される、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載の方法により作製された、自己 T 細胞ワクチン。

【請求項 8】

多発性硬化症を処置するための、請求項 7 に記載の自己 T 細胞ワクチン。

【請求項 9】

M S 関連抗原に反応性の C D 8⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、C D 4⁺ T 細胞集団が減らされている、ワクチン。

【請求項 10】

M S 関連抗原に反応性の C D 8⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、該 M S 関連抗原が、ミエリン塩基性タンパク質、プロテオリピドタンパク質およびミエリン稀突起神経膠細胞糖タンパク質からなる群より選択される、ワクチン。

【請求項 11】

M S 関連抗原に反応性の C D 8⁺ T 細胞の富化集団を含む自己 T 細胞ワクチンであって、該 M S 関連抗原が、配列番号 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載される配列を含む、ワクチン。